

SHIMONISHI
HARUNA

下西春菜

曇天 —小さな世界—



草葉の陰(くさばのかげ) 鉛・木・塗料・レース / W890 H500 D25 mm / 2015

2018
6/16 sat — 9/30 sun

NAGOYA UNIVERSITY
OF THE ARTS
Gallery BOX

曇天 —小さな世界—

『一つの物事にはポジティブとネガティブという二面性があり、ポジティブとネガティブは二つで一つの物事を成す。これは世界の理である。』
この考えを主軸にして制作をしています。

物事の姿形を単純化して、ネガティブを鉛で、ポジティブを鉛の鈍色や重量感に対する明色で示し、理を記号のように表現する。それらの作品を空間に配置することは、私にとっては地図や俯瞰図を作るような気分です。いつの日か、『これが世界だ』と思えるような空間を作れるかもしれません。今回は納屋橋テラスにて、ショーウィンドウという形式で小さな世界を作ってみたいと思います。ご高覧頂ければ幸いです。

下西春菜 SHIMONISHI HARUNA

しもにしはるな ● 1982年生まれ。2004年名古屋芸術大学美術学部デザイン科メタルコース卒業。以降、愛知県内で制作、展示を行う。2010年「公募展きてみん！奥三河『アートの森』2nd.SEAZON」に参加。2015年THE INTERNATIONAL ARTWORKSHOPに参加、デンマーク/グルステッドにて滞在制作。

名古屋芸術大学芸術学部長 萩原周

この度テラス納屋橋に、名古屋芸術大学の芸術の息づかいを届ける小さな窓：Gallery Box(以下GB)をオープン致しました。

当地では、既に昨年9月に名古屋芸術大学地域交流センターを開設し、ブロックアートによるアート体験を通じた地域交流を推進する活動がスタートしています。今回のGB開設はこれに続く新たな事業として、本学ゆかりの作家による作品展示の場を創出し、教育研究活動の一環としてのアートマネジメントの実践を通して、地域のみならず芸術の魅力をより身近に感じて頂くことを目的としています。

GBでは、今後も年に3～4回程度の展示を計画しており、小品が中心とはなりますが、いずれも芸術による豊かな表現力や、創造者たちのあくなき挑戦の姿を力強く発信できる作品を展示していく予定です。今後とも、本学のこの小さな窓による芸術の試みにどうかご期待下さい。

展示期間中、テラス納屋橋3Fの名古屋芸術大学地域交流センターにて作家ワークショップを開催予定です。内容など詳細が決まりましたら名古屋芸術大学アート&デザインセンターのFacebookでご案内いたします。

1 旋回鳥(せんかいどり)

鉛・シナ合板・硬質ウレタン・塗料・樹脂・パール粉 / W490 H160 D47 mm / 2017

2 希望する家(きぼうするいえ)

鉛・木・硬質ウレタン・塗料 / W360 H500 D85 mm / 2014

展示されている一部の作品は購入が可能です。詳しくは下記連絡先へお問合せください。

名古屋芸術大学 Gallery BOX

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1丁目2番49号 テラス納屋橋2F通路 ショーウィンドウアクセス | 名古屋市営地下鉄東山線・鶴舞線伏見駅より徒歩7分、名鉄名古屋駅より徒歩15分



主催 | 学校法人名古屋自由学院
施設運営管理 | 名古屋芸術大学地域交流センター
展覧会運営管理 | 名古屋芸術大学アート&デザインセンター
連絡先 | 名古屋芸術大学
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地
TEL 0568-24-0325 FAX 0568-24-0326
Mail adc@nua.ac.jp

